

**「京都府生涯現役クリエイティブセンター研修実施業務」
業務委託に関する質疑・回答**

2月27日回答分

番号	質 問	回 答
1	仕様書第6（1）アに関して、専門研修の講師については、全て府内大学等の教員に限定するものか。研修内容には「営業」も含まれており、本領域については産業界の知見の方が適当と考えるがどうか。	本専門研修は、大学等教育機関におけるリカレント教育の推進の一環としての側面も持ち合わせているため、講師は原則として府内大学等の教員を招聘いただきたい。ただし、専門性を高める目的で、企業や団体の実務経験者等を、上記教員と併せて講師に招聘することは差し支えない。
2	応募要項第8（2）について、プレゼンテーション及びヒアリングの所要時間を教えていただきたい。	各事業者、プレゼンテーション20分、外部有識者からのヒアリング10分を予定しているところ。詳細については、提案事業者あてに別途通知することとする。
3	仕様書第6（1）アに関して、講師には府内大学等の教員を講師として招聘することを基本とするとあるが、府内大学等の教員に係る講師費用の目安と令和6年度の実績について教えていただきたい。	大学等教員の講師費用は役職によって異なるが、講師謝金、旅費、会場費等合わせて1コース（5回の場合）約50万円程度の予算を見込んでいる。利用者や産業界のニーズに基づく提案をいただきたい。
4	仕様書第6（1）アに関して、令和7年上半期の講座については一部を京都府において企画することとあるが、講師手配も完了しているという認識でよいか。	企画している一部については講師手配済である。
5	仕様書第6（1）イに関して、講師には府内大学等の教員や産業界で豊富な経験と知見を有する人材を招聘するとあるが、府内大学等の教員並びに産業界で豊富な経験と知見を有する人材に係る講師費用の目安と令和6年度の実績について、それぞれ教えていただきたい。	当該項目は新規事業のため令和6年度実績はないが、講師謝金、旅費、会場費等合わせて1回あたり約10万円程度の予算を見込んでいる。利用者や産業界のニーズに基づく提案をいただきたい。
6	仕様書第6（1）ウに関して、各界著名人を講師に招くこととあるが、講師謝金の目安と令和6年度の実績を教えてください。	講師謝金、旅費、会場費等合わせて1回あたり約100万円程度の予算を見込んでいる。令和6年度については一部実施途中であるが、全4回で約400万円程度の支出

	いただきたい。	を見込んでいる。
7	仕様書第6（2）ウに関して、生成 AI の開発について、chatplus を導入しているようだが、これをベースに開発を行うということか。また、現在はどのプランで運用されているのか。あわせて、開発費用も含め本業務に係る想定金額を教えてください。	現在 chatplus の導入実績はなく、開発から運用までを新たに提案いただきたい。開発費用は約1千万円程度を想定している。
8	仕様書第6（3）に関して、相談・マッチング業務と連携し実施することとあるが、それぞれの事業で負担額が定められているのか、定められている場合は金額を教えてください。	それぞれの事業で負担額は定めていない。
9	仕様書第9に関して、令和6年度のア、イ、ウ、エの1月末時点の実績を教えてください。	令和7年1月末時点の実績は以下のとおり。 ア センター新規利用登録者：2, 278人 イ KYO 育 tv.新規登録者数：3, 185人 ウ KYO 育 tv.視聴回数：14, 208回 エ 定着支援研修による新卒（転職1年目を含む）者支援数：69件